

総合評価方式の評価

総合評価方式を評価する視点

総合評価方式は、価格のみの競争でなく技術力のある企業を評価して工事の品質を高めることを目的としているので、受注者選定の入札段階と工事品質を評価する竣工段階で評価する。

入札段階の評価

【傾向】

▷ 試行件数は、平成26年度の合併建設事業終了で大幅に減少し、平成29年度以降、大幅な増減は見られない。

▷ 技術点1位または価格点1位が落札する割合及び技術・価格点共に1位である落札者の割合は、令和3年度と比べ減少した。

【考察】

▷ 技術点、価格点とも、ほぼ同じ比重で落札に反映されている。

▷ 技術点も価格点も高いものが落札する傾向にある。

竣工段階の評価

【傾向】

▷ 総合評価方式の工事成績評定点の平均点は、令和4年度も引き続き85点以上と高い水準を維持している。

▷ 総合評価方式の平均点は一般競争入札（通常）より高い水準を維持している。

【考察】

▷ 総合評価方式では、品質の高い工事が行われている。

まとめ

総合評価方式は、価格のみ評価する一般競争入札と比べ

- ・ 技術力を持ち合わせた落札候補者との契約
- ・ 質の高い工事目的物の完成

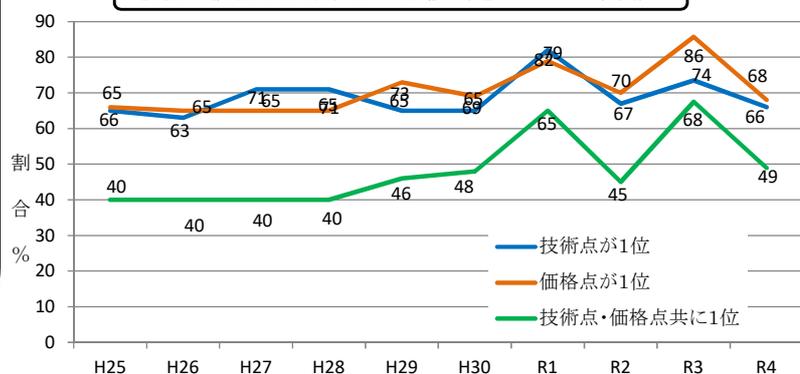
という目的に対して、一定の効果が出ており、公共工事の品質向上につながっている。

試行件数

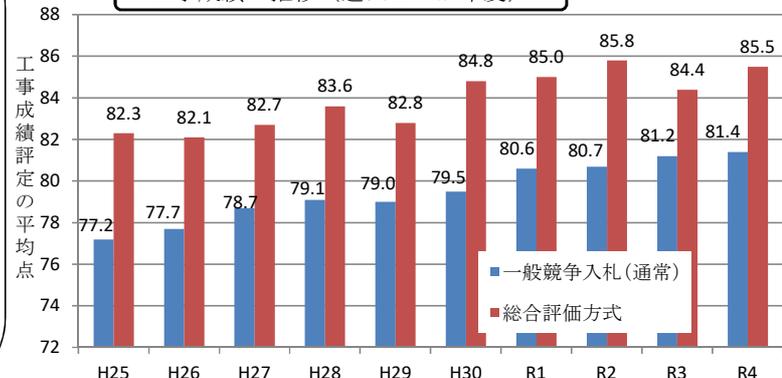
年度	件数
H18～23	666件
H24	121件
H25	118件
H26	115件
H27	78件
H28	98件
H29	53件
H30	49件
R1	58件
R2	60件
R3	50件
R4	53件
合計	1,519件

※件数には、不調、不落など
試行した全ての案件数を含む

技術・価格点別落札者の推移（過去10か年度）



工事成績の推移（過去10か年度）



令和5年度の主な改正点

- ▷ 「新潟市建設工事総合評価方式試行要領の運用基準」の改正について
 - ・ 評価項目「新潟市消防団協力事業所」の評価基準を改正しました。
- ▷ 「ボランティア活動」の実績の取扱いについて
 - ・ 令和2年11月12日付け「総合評価方式における「ボランティア活動」の実績の取扱いについて（周知）」の取扱いについて、令和5年度からはこの取扱いを行いません。
- ▷ 配置予定技術者を兼任する場合の手続きについて
 - ・ 配置予定技術者を兼任する場合の事前の手続きは不要としました。